8月1日・2日に開催
「平和行動in広島」に14名が参加

中央本部は広島地方本部と共に、8月1日（土）～2日（日）開催された連合「平和行動in広島」に14名が参加した。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、平和集会等は中止となったが、連合広島の思いをうけて、ピースウォークなど3密をさけながら可能な範囲で連帯運動の一環として行動を行った。

核兵器投下の悲劇を今に伝える原爆ドーム

広島平和記念資料館では8月6日の惨状や放射能による被害や核兵器の危険性など見聞を広め、ピースウォークでは、平和記念公園内の平和にまつわる場所をめぐり、広島地本青年女性委員会の組合員がそれぞれの碑や施設の説明をおこなった。あわせて翌日の国鉄原爆死没者慰霊式にも参列。密をさけながら縮小で開催し、鉄道員の先輩方に哀悼の意を捧げた。

これからも戦争や原爆の歴史を風化させない行動を、ＪＲ西労組として取り組む。

ロマンは実を結ぶ
京都地本 滋賀支部　No.261

琵琶湖 近江牛 信楽焼…四季折々が楽しめる滋賀へ

京都地本　滋賀支部は文字通り滋賀県内の分会で組織しております。運輸・乗務員区は7分会、保線区・電気区が各2分会で構成。

みなさまご存じ日本一の湖、琵琶湖が県の真ん中に存在し、その琵琶湖を囲むように湖西線と琵琶湖線、そして草津から草津線が走っております。

沿線には近江牛を始めとするグルメや琵琶湖を眺めながらの湖西線の旅、草津線から貴生川乗り換え信楽の焼き物など、四季折々、多種多様なレジャーが楽しめます。新型コロナウイルスが、終息した暁には是非とも風光明媚な滋賀の地へお越し頂きますよう、お願いいたします。

滋賀支部の執行部は向井雄一委員長を始め16名（2名の特別執行委員含む）で組織しており、年齢構成はＪＲ採用が14名です。2名のＪＮＲ採用の方には、日々ご尽力をいただき、組織の活性化においてもまだまだ頑張っていただいております。

対話を重視する向井委員長の方針のもと、毎年、定期大会後には各分会委員長と各現場長、そして、滋賀支部執行部が集まり意見交換会を実施し、その中で出た課題などを共通認識ととらえ、改善に向け取り組んでおります。

また、青年女性委員会も活発に活動しており、毎年春にはいちご狩りツアーを開催。その参加者は青女だけに留まらず、支部や地本全体から参加者が集まり、もちろん組合員のご家族にもお集まり頂き、盛大に行われます。秋には信楽の陶芸体験も隔年で行われ、好評を得ております。

しかしながら、今年は、いずれの行事も新型コロナウイルスの影響により中止。各地本の支部・分会におかれましても、組合員同士で集まれるような行事を催すことが難しく、本当に息が詰まるような日々をお過ごしかと思います。

でも、抱えている思い、悩みは一緒であり、少しでも前を向けるような活動を新たに考えていかなければなりません。その活動がどういったものか、今のところ、答えは出てきておりませんが、今後、滋賀支部一同、一つになって考えていきたいと思っております。

まだまだ、終息の見えないコロナウイルスですが、組合活動をストップしてしまうと、そこから生まれるものはありません。少しでも前を向けるような取り組みを地本とも連携していき、各分会との橋渡し的な役割を滋賀支部が担っていると思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

〈京都地本発〉

中国JRバス地方本部

中国JRバス地方本部は、第30回定期大会を8月28日（金）にホテルチューリッヒ東方2001において、新型コロナウイルス感染症防止のため、大会規模を縮小し開催した。冒頭、久禮田委員長より、安全の取り組み、新型コロナウイルス感染症防止対策、春季生活闘争、組織の強化・充実等に対する問題提起があった。

その後、8名の代議員から、バスを取り巻く安全問題を中心に、新型コロナウイルス感染症への対応や賃金、制度・業務課題などの待遇改善について発言があった。

広島地方本部

広島地方本部は、第31回定期大会を8月29日（土）にピピ510（徳山）において、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら開催した。

7名の代議員から、安全課題、新型コロナウイルス感染症への対応、組合活動のあり方などの組織課題、ＪＲ広島病院の業務課題についてなど、幅広く発言があり、石松書記長の総括答弁の後、満場一致で方針が決定した。

福知山地方本部

福知山地方本部は、第30回定期大会を8月29日（土）に京都府立中丹勤労者福祉会館において、検温などの感染防止対策を講じながら85名で開催し、野垣委員長は、安全、新型コロナウイルス感染症対策、グループ支援、春闘、企画提案運動、政策課題と政治参画などについて挨拶を行った。

全体質疑では、9名の代議員から主に業務に係る質疑があり、尾崎書記長からは賃金実態調査100％集約に向けた力強い総括答弁がされ、満場一致で方針を決定した。

本社総支部

本社総支部は、第28回定期大会を8月29日（土）にサード・プレイス弥生において、大会規模を縮小し3密を意識して開催した。

質疑では、事前に意見集約を行い大会当日は、コロナ禍の中での働き方改革、ネクストステップの運用、大阪鉄道病院などに関わる諸課題について、5名の代議員から発言があった。

役員選出では、橋口委員長と蒲書記長が勇退し、新たに枡田委員長と小林書記長が選出された。

執行委員長　枡田　哲也　**（新任）**
副執行委員長　山本　恭隆　（再任）
書記長　小林　拓矩　**（新任）**

和歌山地方本部

和歌山地方本部は、第31回定期大会を8月30日（日）に和歌山市ＪＡビルにおいて、新型コロナウイルス感染症防止のため、大会規模を縮小、加えて時間短縮を図り開催し、約70名が集結した。

宇田委員長は挨拶の中で、安全確立、新型コロナウイルス感染症への対応、21春闘、業務・組織などについて力強い提起を行った。

その後、8名の代議員から、災害対応、要員問題、コロナ禍の業務課題等11項目について、真摯で積極的な討議が行われた。

福岡地方本部

福岡地方本部は、第30回定期大会を8月30日（日）に博多バスターミナルをメイン会場に、博多総合車両所をＬＩＶＥで繋ぎ開催した。

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は中央本部大会同様の形式で万全の対策を講じて行われた。

米村委員長の挨拶では、安全最優先、新型コロナウイルス感染症への対応、春季生活闘争、政治課題などについて課題提起があり、事前に集約した意見書では、重大インシデントや新幹線の安全に関わる課題を中心に、働き方改革、ワークライフバランスなど28項目についての意見が寄せられた。

役員改選では、米村委員長が再任をされ向こう1年間の体制が確立された。

執行委員長　米村　弘隆　（再任）
副執行委員長　坂田　修　**（新任）**
副執行委員長　田中　伸樹　（再任）
副執行委員長　川西恵太郎　**（新任）**
書記長　大戸　浩之　（再任）

女性役員ひとつなぎ　Vol.10

◀イラスト：岩森さん

本社総支部 執行委員
近藤加奈

こんにちは。本社総支部の組織部次長（男女平等参画担当）として活動している近藤です。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、3月頃から例年では考えられないことが連続して起きています。本社総支部でも、刻々と変化する状況下で、また在宅勤務等で組合員同士が満足に情報交換できない中で、それぞれが工夫してなんとか日々を過ごしています。

しかし、こんな時こそ、よりよい働き方を目指すいいチャンスだと前向きに考えたいと思います。

本社総支部では安全を基礎に、働き方改革推進を主要課題として、労使で議論を重ねてきています。ＪＲ西労組の企画・提案型の運動を今こそ発揮し、本社総支部としても積極的に会社に提案を行い、組合員目線での働き方改革を更に推進していきたいと思います。

皆さんもこの状況を捉え、自ら何が出来るか考え、職場で議論してみてはいかがでしょうか。

次は、岡山地本の小橋さん、お願いします。